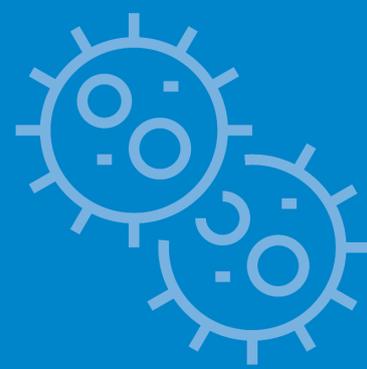


低・中所得国でCOVID-19を防ぐには HIV 予防からの教訓



世界HIV予防作業部会、2020年4月

新型コロナウイルス感染症COVID-19の流行は急速に世界に拡大しています。HIV、結核（TB）、マラリアといった感染症の流行により、すでに大きな打撃を受けている国もその中には含まれています。一方で、過去30年以上にわたるHIV対策の経験から、効果的な予防のアプローチも分かってきました。この短い説明文書は、低・中所得国（LMICs）の政策策定や保健医療プログラムの実践にあたる人たちがCOVID-19の原因ウイルスの感染予防に取り組む際、最善の選択を行う助けになるようその成果を要約したものです。

HIV 予防の教訓に基づくCOVID-19対応への8つの戦略指針

HIVの流行では、影響を受けている当事者のコミュニティと科学、政治の指導者が協力し、資金を動員することで、多くの人々が不可能だと思っていた目標の達成に向けて成果をあげてきました。低・中所得国で質の高い検査、治療、予防プログラムを大規模に展開し、様々な分野の関係者がそれを実現する力になってきたのです。国家エイズ委員会や国のHIVプログラム、そしてHIV陽性者のネットワークなど様々なコミュニティベースの組織からの支援があれば、各国はその経験を素早くCOVID-19対策に生かし、実践することが可能になります。

1. 初期段階からコミュニティ主導の体制を構築：みんなで力を合わせて取り組もう

市民社会、コミュニティ中心の組織、宗教的なグループ、地元リーダーといった人たちがCOVID-19対策の策定に加わることで、コミュニティが自ら対策の担い手であるという意識が高まり、サービス提供を効果的に進められるようになります。HIVへの対応と同様、コミュニティは対策の牽引役となり、保健サービスから

取り残されていた弱い立場の人たちにサービスを届けられるようにし、スティグマや差別を把握してそれに対応し、人権やジェンダーの平等を尊重しつつ公衆衛生対策を進めるための合意形成にも不可欠です。

2. 分野横断的な連合：保健分野の枠を超えて動こう

HIVもそうだったように、COVID-19も保健分野だけで対応できる問題ではありません。各国の国家エイズ委員会とHIV予防連合にみられるような多分野にまたがるパートナーシップはすでに、政府、各部門、影響を受けているコミュニティ、宗教組織、伝統的指導者、実業界や民間保健医療機関などの様々な協力関係を生み出してきました。また、各国の国内レベルではエイズ対策における国連の国別合同エイズ対応チームのように、国連機関が国内の多分野にまたがるCOVID-19対策を調整していくことが可能になります。国連の合同チームは国のCOVID-19対策を強化し、広げるための力になるでしょう。

3. キーポピュレーションの人たちや弱い立場の人たち：人権を基本にしたアプローチで誰一人、取り残さないようにしましょう

HIV対策から得られた極めて重要な教訓は、社会的に弱い立場に置かれ、排除されがちな人たちの存在を重視し、流行とその対策のそれぞれから影響を受けている人たちの人権をまもられるようにしなければ、流行は終わらないということです。HIVの流行でもそうでしたが、COVID-19対策でも、社会的に弱い立場の人口集団の再定義が必要であり、そこには人口密度の高い状態で設備も限られた非公式な居住環境に住む人たちも含めなければなりません。弱い立場の人たちのニーズを理解し、権利を守り、対策を決めていく必要があります。

4. 対策の明確な枠組み：対策のパッケージと柱を決めよう

失敗からの教訓もあります。明確な枠組みがなければ、予防対策は焦点がしぼれず、あいまいなものになってしまいます。HIV 予防対策では、介入方法や責任の範囲、達成すべき目標といった柱を定義することによって、焦点を絞りつつ分野横断的に高い効果をあげられることが明確になりました。最初に優先すべき介入手段やセクター間の分担を決めておけば、COVID-19対策でも同じことが可能です。たとえば、対策には一次予防策の柱（社会的距離、検査、手洗いと咳エチケットなど）、政府が準備すべき柱（保健医療分野における危機対応策、基盤整備の継続性、水の供給、食糧確保、教育、弱い立場の人たちへの社会保護）、民間部門の協力に関する柱（対策に不可欠な製品の生産とその他のサービス提供の維持）などが含まれます。

5. 行動変容を促すアクション志向のコミュニケーション：予防メッセージの伝え方を考えよう

HIV 予防の公衆衛生プログラムは、社会全体、および特別なニーズがある人口集団のそれぞれに対し、エビデンスを踏まえ、需要創出と行動変容に焦点を当てた簡潔で実行可能なメッセージを伝えることで初めて、うまくいくようになりました。この専門技術は、リスクコミュニケーションの緊急対応アプローチやコミュニティ主導の対応と合わせて活用できます。人との距離を開けること（physical distancing）や手洗いの励行、検査など COVID-19 の予防に関するキーアクションには、国営メディアで行動変容コミュニケーションを展開することができます。

6. physical distancing（人との距離を開けること）時代のイノベーション：バーチャル空間を予防に生かそう

HIV が出現した時には、ポピュラー音楽やメディアその他のチャンネルを通じた広範な社会文化的観点からの表現の工夫が、予防メッセージと HIV 予防行動の普及を助けてきました。出会いがオンラインに移行してからは、HIV 予防対策も一部、同様の移行を果た

しています。ホットラインやオンラインによるカウンセリング、および大規模な予防キャンペーンを出会い系アプリやソーシャルメディアのプラットフォームで進めた経験が教訓となります。COVID-19 対策では、すでにほとんどの低・中所得国 LMICs で携帯電話のネットワークが広がっていることを活用して予防メッセージの普及をはかり、カウンセリングと検査の入り口にできるでしょう。

7. ビジネスを活用したアプローチ：行動の拡大を急ごう

COVID-19 は国境を越えて急速に広がり、食品や医療用品のサプライチェーンや物流にも負担をかけています。HIV 予防の担当者には、LMICs におけるプログラム普及に関する知識と経験があります。たとえば、遠隔地ではソフトドリンクのトラック配送を活用し、コンドームの社会的普及を進めてきました。マスクや石けん、医療用品も民間企業の協力を得て、商品とともに運ぶ体制をとれば、どこでも必要なところに届けることができます。

8. 追跡調査とピアの役割：結果指向の枠組みとスコアカードを COVID-19 対策に生かそう

世界 HIV 予防連合のスコアカードやコミュニティ主導のモニタリングのような考え方を導入すれば、公衆衛生対策の成果を的確に測れるようになります。こうしたアプローチは COVID-19 対策にも導入でき、結果も追跡しやすくなります。介入の対象範囲をどうするか？ 行動やサービス利用にどんな成果が出ているのか？ 誰が取り残されているのか？ 疾病の影響は？ スコアカードがあれば結果を様々な面から把握でき、基準の設定や比較も容易になります。LMICs の HIV 専門家の多くが、すでに COVID-19 対策に加わっています。こうした教訓やそれぞれの国における経験を持ち寄ることもできます。注目すべきなのは、HIV 対策も COVID-19 対策から学び、緊急事態の中で 2 つの対策を統合して取り組めるようになることです。まだ検討されていなかったけれど、次の 10 年の HIV 対策に向けて指針になり得る課題についても教訓を引き出すことができるのです。

この短い解説は、世界 HIV 予防作業部会のメンバーが作成しました。この作業部会には以下の組織の代表が含まれています（アルファベット順）：African Youth and Adolescent Network on Population and Development, AIDS Vaccine Advocacy Coalition (AVAC), Bill & Melinda Gates Foundation, Frontline AIDS, Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria, Global Network of Sex Work Projects (NSWP), Institute of Tropical Medicine (Antwerp), International Planned Parenthood Federation (IPPF), Kenya National AIDS Control Council, National AIDS Council of Zimbabwe, UNAIDS, United Nations Children's Fund (UNICEF), United Nations Population Fund (UNFPA), United States President's Emergency Plan for AIDS Relief (PEPFAR) and World Health Organization (WHO)。

各国の政府、市民社会、その他のパートナーが経験と新たな解決策を共有できるよう世界エイズ予防連合はウェブ・プラットフォームを作りました。こちらに経験をお寄せください。 hivpc@unids.org